

4 施設入所者調査

(1) 基本的な属性

ア 性別

問2 性別はどちらですか。(○は1つ)

性別は、男性が 60.6%、女性が 37.5%である。

		＜性別＞			(%)
		男性	女性	無回答	
n=104		60.6	37.5	1.9	

イ 年齢

問3 おとしはおいくつですか(8月1日現在)。

年齢は、40代が 28.8%、50代が 26.0%で、平均年齢は 50.1歳である。

		＜年齢＞						(%)
		20代	30代	40代	50代	60歳以上	無回答	平均
n=104		3.8	16.3	28.8	26.0	21.2	3.8	50.1歳

ウ 障がいの種類

問4 つぎのうち、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも) 身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をおもちの場合は、該当する等級にも○をつけてください。

障がいの種類は、「身体障害者手帳を持っている」人が 20.2%、「愛の手帳(療育手帳)を持っている」人が 92.3%となっている。

		＜障がいの種類＞						(%)
		身体障害者手帳を持っている	愛の手帳(療育手帳)を持っている	精神障害者保健福祉手帳を持っている	国または東京都が指定する特定疾患(難病)を患っている	高次脳機能障害と診断されたことがある	発達障害と診断されたことがある	無回答
n=104		20.2	92.3	1.0	1.0	—	9.6	2.9

障がいの等級をみると、身体障害者手帳では「1級」が 47.6%と最も多く、愛の手帳(療育手帳)では「2度」が 67.7%と最も多い。

		＜障がいの等級＞						(%)
身体障害者手帳	n=21	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
		47.6	33.3	9.5	—	4.8	4.8	
愛の手帳(療育手帳)	n=96	1度	2度	3度	4度	無回答		
		7.3	67.7	13.5	9.4	2.1		
精神障害者保健福祉手帳	n=1	1級	2級	3級				
		100.0	—	—				

障がいの重複状況をみると、愛の手帳(療育手帳)のみを持っている人が71人、身体障害者手帳のみを持っている人が5人、愛の手帳(療育手帳)と身体障害者手帳の両方を持っている人が16人(うち2人は発達障害と診断されたこともある)である。

＜障がいの重複状況＞

愛の手帳(療育手帳)のみ	71人	(68.3%)
身体障害者手帳のみ	5人	(4.8%)
愛の手帳(療育手帳)と身体障害者手帳	14人	(13.5%)
愛の手帳(療育手帳)と身体障害者手帳と発達障がい	2人	(1.9%)
愛の手帳(療育手帳)と発達障がい	7人	(6.7%)
愛の手帳(療育手帳)と精神障害者保健福祉手帳	1人	(1.0%)
愛の手帳(療育手帳)と発達障がいと難病	1人	(1.0%)
無回答	3人	(2.9%)
計	104人	(100%)

エ 記入者

問1 この用紙に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

今回の調査票の記入については、68.3%が「施設職員の方が記入」し、25.0%が「ご家族が記入」しており、「本人が記入」したのは4.8%である。

＜今回の調査票の記入者＞ (%)

	本人が記入	ご家族が記入	施設職員の方が記入	その他	無回答
n=104	4.8	25.0	68.3	1.0	1.0

(2) 入所の状況

ア 入所期間

問5 現在の施設に入所してからどれくらいになりますか。(○は1つ)

現在の施設に入所してからの期間は、「20年以上」が46.2%を占めている。

年齢別にみると、40代でも「20年以上」入所している人が53.3%と半数を超えている。

＜入所期間／年齢別＞

(%)

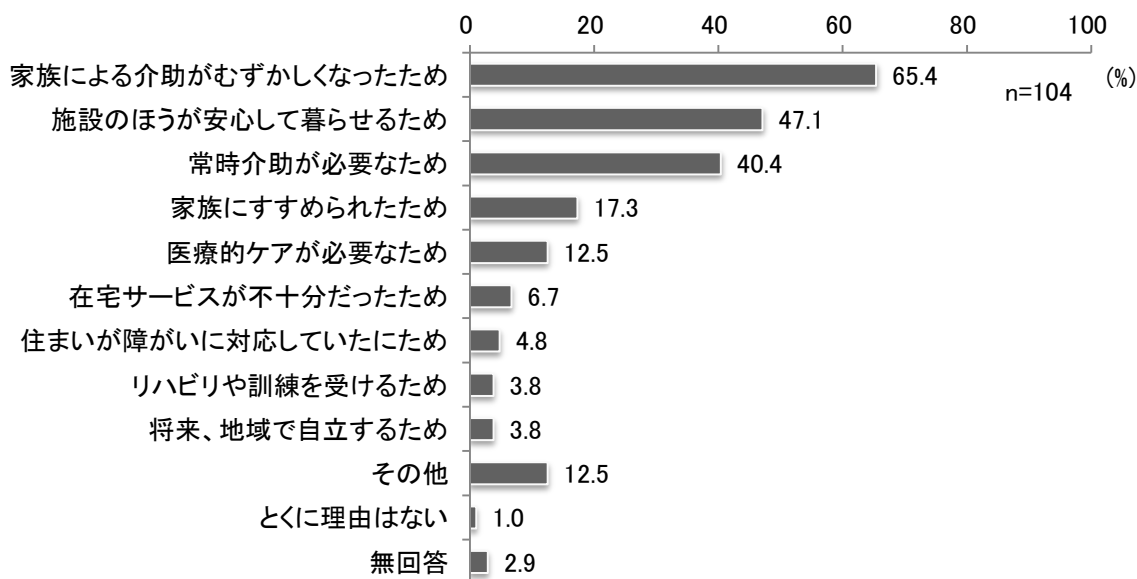
		5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	無回答
対象者全員	n=104	7.7	9.6	17.3	15.4	46.2	3.8
20代	n=4	25.0	50.0	25.0	—	—	—
30代	n=17	11.8	23.5	35.3	17.6	5.9	5.9
40代	n=30	6.7	10.0	10.0	16.7	53.3	3.3
50代	n=27	11.1	—	22.2	7.4	55.6	3.7
60歳以上	n=22	—	4.5	—	22.7	72.7	—
無回答	n=4	—	—	50.0	25.0	—	25.0

イ 現在の施設へ入所を決めた理由

問6 現在の施設へ入所することを決めた理由はなんですか。(○はいくつでも)

入所することを決めた理由は、「家族による介助がむずかしくなったため」が65.4%と最も多く、次いで「施設のほうが安心して暮らせるため」(47.1%)、「常時介助が必要なため」(40.4%)と続いている。

＜現在の施設へ入所を決めた理由＞



「その他」としては、具体的に以下のような記入があった。

- ・ 親の高齢化(50代女性、知的)
- ・ お母さんが具合が悪いから(50代女性、知的)
- ・ 進路指導の先生にすすめられたから(30代男性、身体)
- ・ 役所職員にすすめられたから(60代男性、身体)
- ・ 児童施設からの移行(40代男性、知的・発達)
- ・ 病院から(30代女性、知的)

- ・ 地元で、くらすことができなくなったため(30代男性、知的)
- ・ 里親死亡により、保護者がいなくなったため(80代女性、知的)
- ・ 精神的におちこんで、なにもできなくなり、親の手におえなくなったから(40代女性、知的)
- ・ 三鷹市にある施設で三鷹市の支援を受けられると安心だと思ったため(30代男性、知的)

(3) 施設での生活

ア 日中の主な過ごし方

問7 ふだん、主に日中をどのように過ごしていますか。(○は1つ)

日中の主な過ごし方としては、「いま入所している施設で、作業や訓練をしている」人が 57.7%、「いま入所している施設で、看護や介助を受けて過ごしている」人が 32.7%となっている。

障がいの種類別にみると、身体障害者手帳を持っている人では 21 人中 16 人(76.2%)が「いま入所している施設で、看護や介助を受けて過ごしている」と回答し、最も多くなっている。

＜日中の主な過ごし方＞ (%)

	いま入所している施設で、看護や介助を受けて過ごしている	いま入所している施設で、作業や訓練をしている	ほかの施設に通って、看護や介護を受けて過ごしている	ほかの施設に通って、作業や訓練をしている	その他	無回答
対象者全員 n=104	32.7	57.7	1.9	4.8	1.9	1.0
身体障害者手帳を持っている n=21	76.2	23.8	—	—	—	—
愛の手帳(療育手帳)を持っている n=96	30.2	60.4	2.1	4.2	2.1	1.0
精神障害者保健福祉手帳を持っている n=1	—	—	100.0	—	—	—
国または東京都が指定する特定疾患(難病)を患っている n=1	100.0	—	—	—	—	—
発達障害と診断されたことがある n=10	60.0	40.0	—	—	—	—
無回答 n=3	33.3	33.3	—	33.3	—	—

※ 重複障がいの場合は、それぞれにカウント

イ 1年間に自宅に帰った回数

問8 この1年間で、どのくらい自宅に帰りましたか。(○は1つ)

この1年間に、「10回以上」自宅に帰った人が 20.2%いる一方、「この1年間は帰っていない」人が 25.0%、「帰る家はない」人が 12.5%おり、合わせると4割弱の人は自宅との行き来があまりない、あるいはまったくない状況がうかがえる。

＜1年間に自宅に帰った回数＞ (%)

	10回以上	6～9回	3～5回	1～2回	この1年間は帰っていない	帰る家はない	無回答
n=104	20.2	7.7	15.4	18.3	25.0	12.5	1.0

ウ 外出の頻度

問9 どのくらい外出していますか。施設の敷地内での散歩などは含めないでください。(○は1つ)

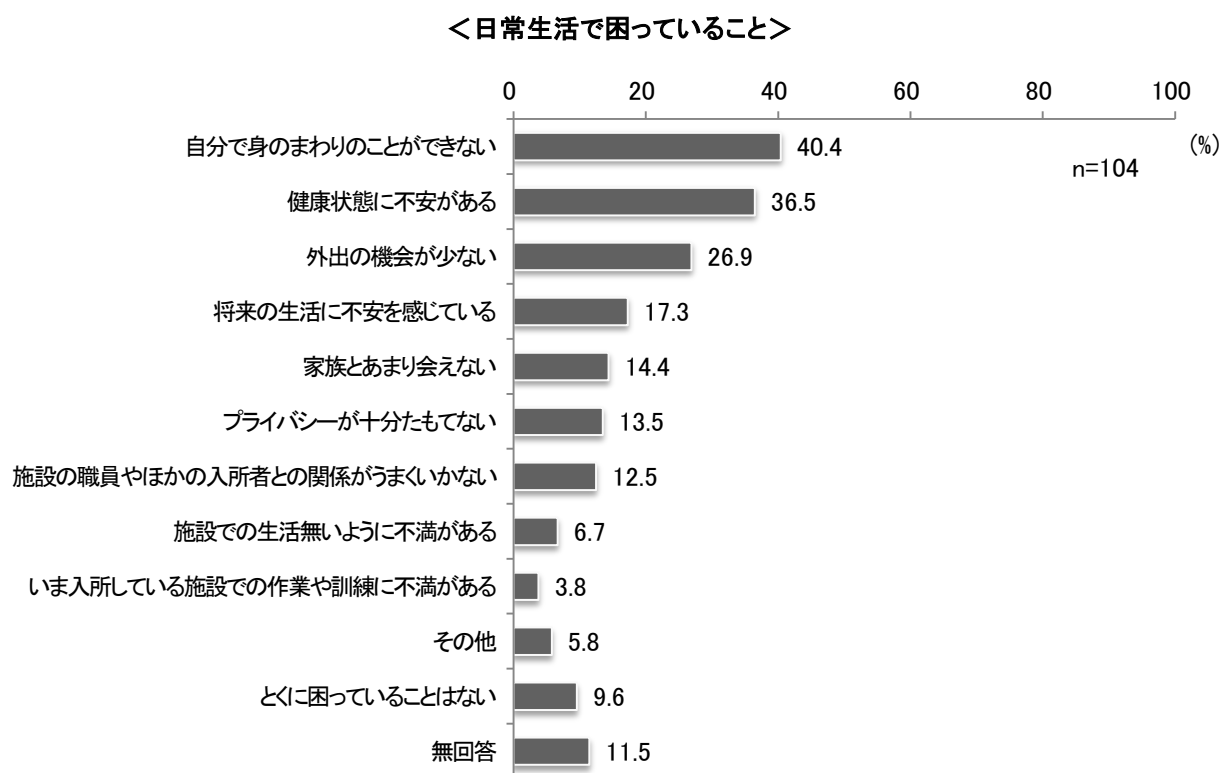
外出の頻度は、「週に2日以上」が 26.9%、「週に1日くらい」が 22.1%となっており、約半数の人は週に1日以上は外出している状況である。

	週に2日以上	週に1日くらい	月に2~3日くらい	月に1日くらい	2~3か月に1日くらい	ほとんど外出しない	無回答
n=104	26.9	22.1	15.4	21.2	9.6	1.9	2.9

エ 日常生活で困っていること

問10 日常生活でなにか困っていることはありますか。(○はいくつでも)

日常生活で困っていることとしては、「自分の身のまわりのことができない」ことをあげる人が 40.4%と最も多く、次いで「健康状態に不安がある」(36.5%)、「外出の機会が少ない」(26.9%)と続いている。



オ 困ったときの相談相手

問11 困ったときに相談する相手はだれですか。(○はいくつでも)

困ったときに相談する相手は、87.5%の人が「施設の職員」と回答し、次いで「家族・親族」が 45.2%で続いている。

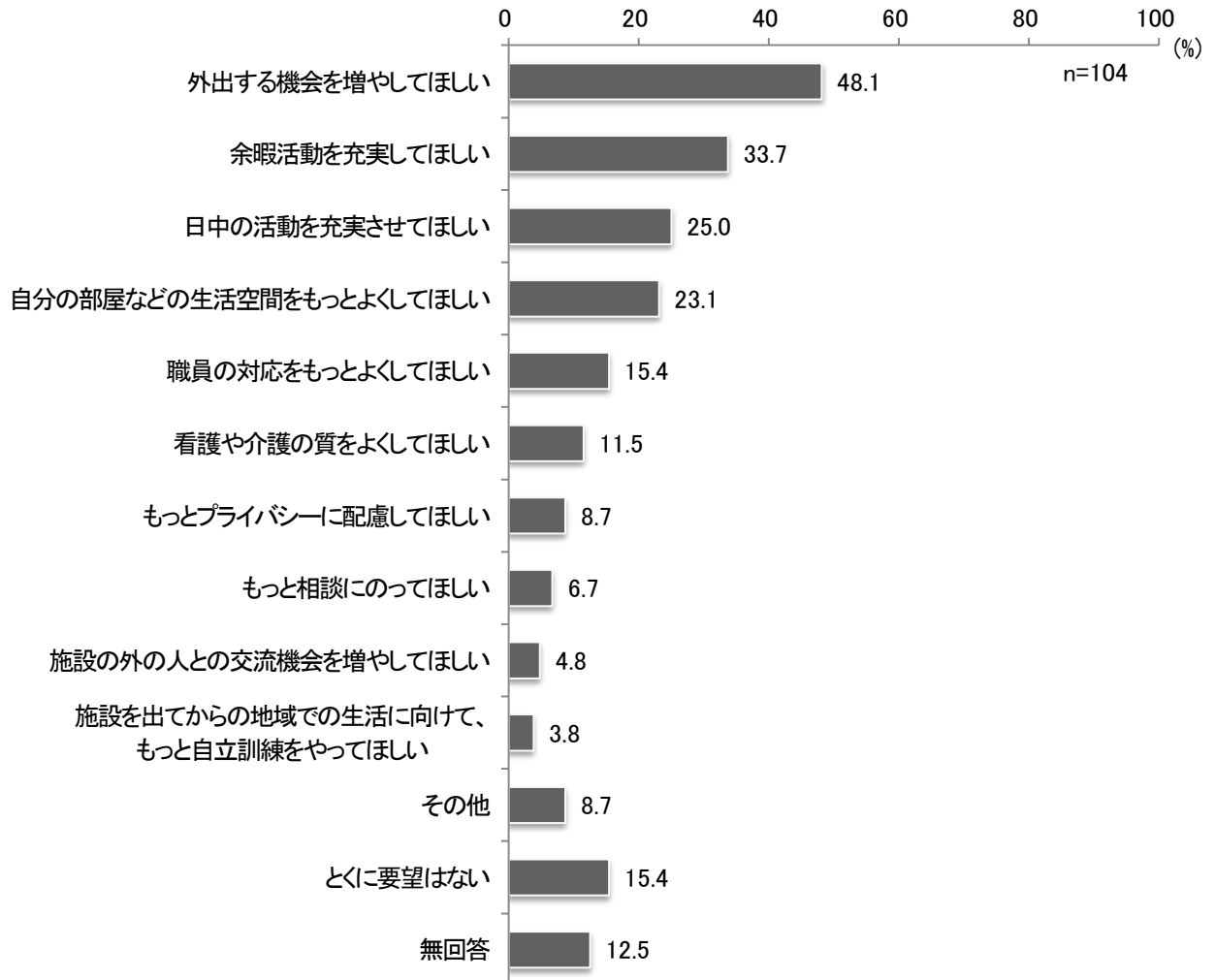
	施設の職員	家族・親族	医療関係者(医師・看護師など)	入所者以外の友だち・知り合い	市の相談窓口	ほかの入所者	相談支援員(相談支援事業所)	その他	相談する相手はいない	無回答
n=104	87.5	45.2	16.3	5.8	5.8	4.8	4.8	1.9	1.0	8.7

カ 施設への要望

問 12 いま入所している施設に対して、どのような要望がありますか。(〇はいくつでも)

いま入所している施設に要望することとしては、「外出する機会を増やしてほしい」が48.1%と最も多く、次いで「余暇活動を充実してほしい」(33.7%)、「日中の活動を充実させてほしい」(25.0%)と続いている。

<施設への要望>



「その他」としては、具体的に以下のような記入があった。

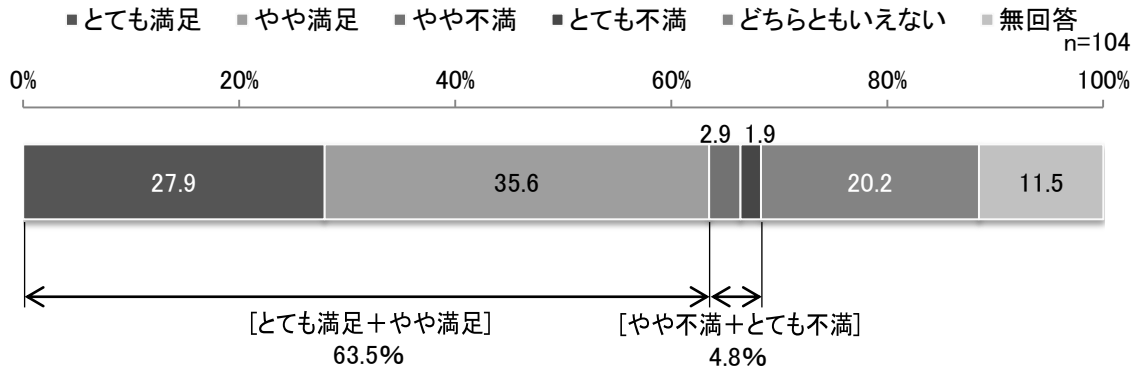
- ・ 人手を増やしてほしい。(60代男性、身体)
- ・ 野球を見に行きたい。(50代女性、知的)
- ・ できるだけ天気の良いときは、外で散歩させてほしい。(40代女性、身体・知的・発達)
- ・ 家族と会いたい(ひんぱんに)(50代男性、身体・知的・発達)
- ・ 病気のと看、治療に対応できないのが心配です。(40代男性、身体・知的)

キ 施設生活の満足度

問 13 入所している施設での生活に満足していますか。(○は1つ)

入所している施設の生活については、「とても満足」している人が 27.9%、「やや満足」している人が 35.6%となっており、合わせると6割を超える人はおおむね施設の生活に満足している状況である。

＜施設生活の満足度＞



コ 生活を支えている収入

問 14 現在、あなたの生活を支えている収入はつぎのうちのどれですか。(○はいくつでも)

現在、生活を支えている収入は、「年金、障害者年金、生活保護費」が 91.3%、「家族からの仕送り・援助」が 14.4%となっている。

＜生活を支えている収入＞

(%)

	年金、障害者年金、生活保護費	家族からの仕送り・援助	授産所や作業所の工賃	給与・賃金	無回答
n=104	91.3	14.4	4.8	1.0	2.9

(4) 将来の生活

ア 将来希望する暮らし方

問 15 あなたは、将来どのような生活をしたいと思いますか。(○は1つ)

将来希望する暮らし方としては、67.3%の人が「いまの施設で、いままでと同じように生活したい」と回答している。退所したい(「家族といっしょに暮らしたい(8.7%)」「ひとり暮らしをしたい(2.9%)」「グループホームなど仲間たちと暮らしたい(3.8%)」の計)と回答した人は15.4%である。

＜将来希望する暮らし方／年齢別＞ (%)

		施設を退所して、家族といっしょに暮らしたい	施設を退所して、ひとり暮らしをしたい	施設を退所して、グループホームなど仲間たちと暮らしたい	いまの施設で、いままでと同じように生活したい	高齢者の入所施設(特別養護老人ホームなど)に移って暮らしたい	その他	わからない	無回答
対象者全員	n=104	8.7	2.9	3.8	67.3	1.9	1.0	10.6	3.8
20代	n=4	—	—	—	50.0	—	—	50.0	—
30代	n=17	—	11.8	5.9	58.8	—	—	17.6	5.9
40代	n=30	16.7	—	3.3	63.3	3.3	3.3	6.7	3.3
50代	n=27	11.1	—	3.7	70.4	—	—	7.4	7.4
60歳以上	n=22	4.5	4.5	—	77.3	4.5	—	9.1	—
無回答	n=4	—	—	25.0	75.0	—	—	—	—

「退所したい」計
15.4%

イ 施設を退所したいと思う理由

問 16 施設を退所したいと思う理由はなんですか。(○はいくつでも)

※ 問 15 で「施設を退所したい(選択肢 1,2,3)」と回答した人

施設を退所したいと回答した16人に退所したいと思う理由を尋ねたところ、9人(56.3%)は「家族のそばにいたいから」、4人(25.0%)は「一般の会社で働いてみたいから」と回答している。

＜施設を退所したいと思う理由＞ (%)

	家族のそばにいたいから	一般の会社で働いてみたいから	ひとり暮らしをしてみたいから	自由な生活がしたいから	作業所などで働いてみたいから	社会的に自立したいから
n=16	56.3	25.0	18.8	18.8	18.8	12.5

	施設を出てやりたいことがあるから	施設での生活に不満があるから	その他	とくに理由はない	無回答
n=16	6.3	6.3	6.3	6.3	12.5

ウ いまの施設生活を続けたい理由

問 17 いまの施設での生活を続けたいと思う理由はなんですか。(〇はいくつでも)

※ 問 15 で「いまの施設で生活したい(選択肢 4)」と回答した人

いまの施設での生活を続けたいと思う理由としては、「施設にいたほうが安心できるから」が 82.9%と最も多く、次いで「家族の受け入れ態勢が整っていないから」(42.9%)、「施設の生活が自分にあっているから」(34.3%)と続いている。

＜いまの施設生活を続けたい理由＞ (%)

	施設にいたほうが安心できるから	家族の受け入れ態勢が整っていないから	施設の生活が自分にあっているから	施設職員やほかの入所者との関係がとてよみから	健康面などで不安があるから	地域で、十分な介助が受けられるか不安だから
n=70	82.9	42.9	34.3	32.9	30.0	12.9

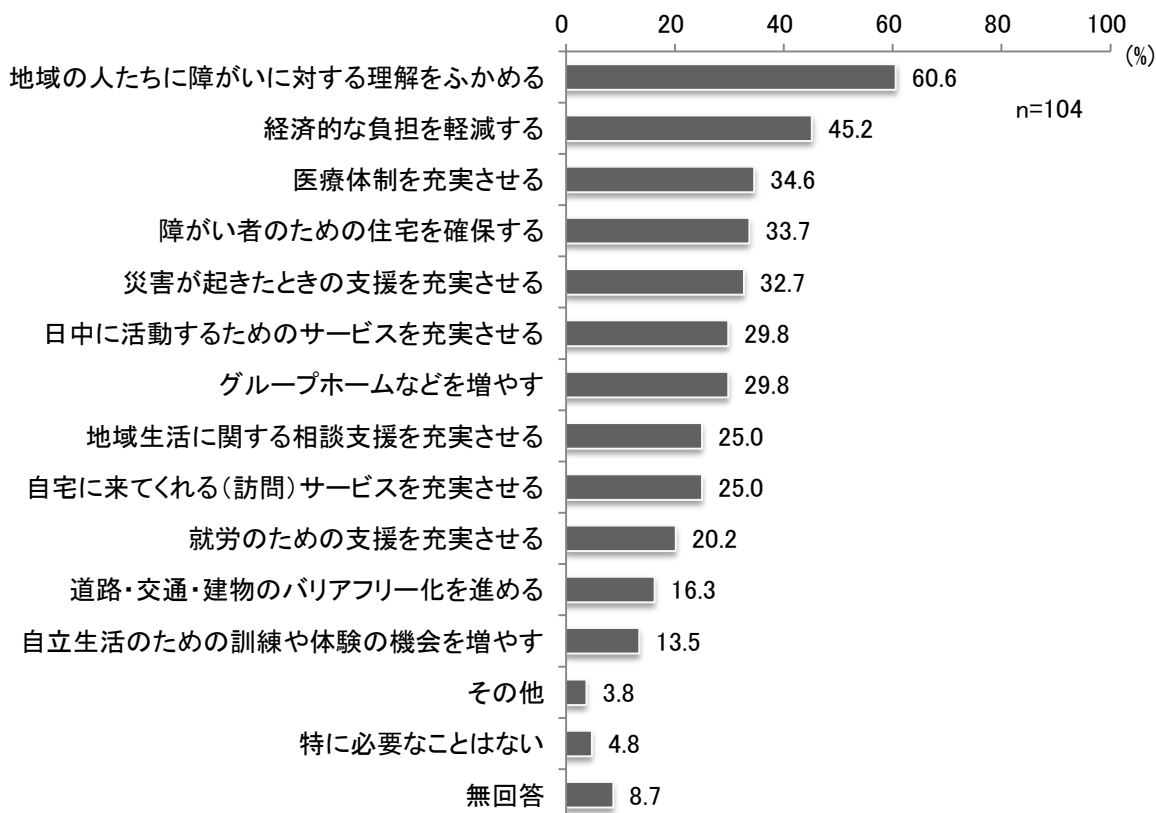
	自宅の構造が障がいに対応していないから	地域での生活に魅力を感じないから	その他	とくに理由はない	無回答
n=70	8.6	5.7	8.6	1.4	1.4

エ 障がいのある人が地域で生活していくために必要なこと

問 18 障がいのある人が地域で生活していくためにはなにが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

障がいのある人が地域で生活していくために必要なこととしては、「地域の人たちに障がいに対する理解をふかめる」ことをあげる人が 60.6%と最も多く、次いで「経済的な負担を軽減する」(45.2%)、「医療体制を充実させる」(34.6%)と続いている。

＜障がいのある人が地域で生活していくために必要なこと＞



(5) 意見・要望等

調査の終わりにあたり、意見・要望についての自由記入欄を設けたところ、施設利用者からは23件、施設からは7件の記入があった。

[利用者の自由記入]

- ・ 今入所している場所で一生いられたらと思っています。とてもよいのでたのしい所です。(40代女性、知的)
- ・ 長年、生活してきたところ、生活環境を変えることは本人にとっても、また、まわりの家族の生活にも影響が大きいと思われます。このまま施設での生活を希望しています。(男性、知的・発達)
- ・ 親が高齢化してくると、なかなか自宅でみる事ができない。重度になればなる程、親の負担が大きくなるので、親が望むのは入所施設です。(40代女性、身体・知的・発達)
- ・ 一緒に暮らしたいが、家族が病気のため、一緒に暮らすのがむずかしい。(30代男性、知的・発達)
- ・ 自宅で介護は、親はどんどん年を重ねていきます。施設の有難さを痛感しています。(30代男性、知的)
- ・ 現状、介助者の人手不足で十分な支援を受け入れていないので完全を望む。(60代男性、身体)
- ・ 部屋が2人部屋となり、プライバシーが保てない現状です。ユニット型の部屋がよいと思っていますが、現在は経済的にはできません。(40代男性、知的)
- ・ 自立生活(ひとり暮らし)に向けて訓練がしたい。食事を今までより少なめに。(体調面を考えて)(40代男性、知的)
- ・ 三鷹市の方に会いたいです。(80代女性、知的)
- ・ 交差点に音声信号をつけてほしい。車通りがないとき等、信号が青になっているかどうかわからないので。(30代男性、身体)
- ・ 三鷹市内に障害者の歯科治療を行う医院が少なく、特に重度の人が通院できる医院がありません。医師会館等で診ていただける日(治療)があればいいなと思っています。(20代女性、身体・知的)
- ・ 障害者が病気やケガをしたときにすぐ受け入れて治療入院等してくれる病院がないのが一番心配です。(40代男性、身体・知的)
- ・ 親なき後、安心安全な心豊かな生活を希望します。(30代男性、知的・難病・発達)
- ・ 本人は意思表示が難しく、代弁できたかどうかわかりません。「こういう暮らしやサービス」と「今の生活」の比較でどちらがベターか?というきき方なら答えやすいかも。(50代男性、知的)

[施設の自由記入]

- ・ このアンケートの結果が人手不足の改善につながって欲しい。
- ・ 支援困難な利用者を手厚く、継続的に支援できる場所ができていくことが望ましい。
- ・ (利用者は)グループホームへの移行も検討されるが、重度障害者に配慮された環境、資金、人材を確保する必要があり、困難なケースが多いと思われる。
- ・ 入所施設でないと生活できない方もいる。地域移行と言うのは簡単ですが、実際はとても難しいケースも多いと思います。(失敗したら戻れる保証がないことも、一歩引いてしまう要因になってしまうのでしょうか。)
- ・ 現在のところは元気ですが、74歳と高齢であることで、自らの将来について(園で余生を送ることが出来るのか? 場合によっては特養等に移行できるのか?) 少し不安に思っているところがあるようです。
- ・ 介護保険では、介護度の低い方の支援を無くす方向で動いているとの話も聞きますが、この方たちを地域で支えるには、身近で気やすく使え、ニーズに応じて臨機応変に使えるサービスが必要だと思います。
- ・ 施設でも地域移行の確認のため、毎年ご本人、ご家族にアンケートを実施しておりますが、地域=家族で、それ以外の何ものでもないことを思い知らされます。

(6) 地域移行についての考え

三鷹市出身の方の地域移行について、貴施設からみたお考えをお聞かせください。なお、あくまで現状を踏まえた上でのお考えです。移行可能とお考えの場合は、望ましい移行先をお答えください。(○は1つ)

※ 利用者一人ひとりについて施設が回答

施設利用者一人ひとりの地域移行について、施設側の考えを尋ねたところ、63.2%の利用者については「地域生活移行は現状では困難と思われる」との回答であったが、約2割(19.8%)の利用者については「グループホーム」への移行が可能であるとの回答を得た。

<地域移行についての考え(施設側の考え)>

(%)

	グループホーム	アパート	自宅(親・きょうだいなど)	上記以外の移行先	地域生活移行は現状では困難と思われる	無回答
n=106	19.8	—	3.8	2.8	63.2	10.4

なお、地域移行についての施設利用者の考えと施設側の考えを比較すると、利用者・施設の両方から回答を得られた104件のうち49件(47.1%)は、利用者が将来も「いまの施設で、いままでと同じように生活したい」と回答し、施設側も「地域生活移行は現状では困難と思われる」との回答になっている。一方、利用者が退所したいと回答した16件のうち、施設側も退所可能(グループホームほか)と回答したのは5件のみである。

<地域移行についての考え(利用者と施設側の対比)>

	利用者	施設	件数
退所したい (16件)	施設を退所して、 家族といっしょに暮らしたい	上記以外の移行先	→ 1 (1.0%)
		地域生活移行は現状では困難と思われる	→ 7 (6.7%)
		無回答	→ 1 (1.0%)
	施設を退所して、ひとり暮らしをしたい	グループホーム	→ 1 (1.0%)
		上記以外の移行先	→ 1 (1.0%)
		無回答	→ 1 (1.0%)
施設を退所して、 グループホームなど仲間たちと暮らしたい	グループホーム	→ 2 (1.9%)	
	地域生活移行は現状では困難と思われる	→ 2 (1.9%)	
その他	いまの施設で、 いままでと同じように生活したい	グループホーム	→ 9 (8.7%)
		自宅(親・きょうだいなど)	→ 3 (2.9%)
		上記以外の移行先	→ 1 (1.0%)
		地域生活移行は現状では困難と思われる	→ 49 (47.1%)
		無回答	→ 8 (7.7%)
	高齢者の入所施設(特別養護老人ホームなど)に移って暮らしたい	グループホーム	→ 1 (1.0%)
		地域生活移行は現状では困難と思われる	→ 1 (1.0%)
	その他	グループホーム	→ 1 (1.0%)
	わからない	グループホーム	→ 5 (4.8%)
		自宅(親・きょうだいなど)	→ 1 (1.0%)
		地域生活移行は現状では困難と思われる	→ 5 (4.8%)
	無回答	グループホーム	→ 2 (1.9%)
地域生活移行は現状では困難と思われる		→ 1 (1.0%)	
無回答		→ 1 (1.0%)	
計			104 (100%)

施設利用者への設問(問15)

- あなたは、将来どのような生活をしたと思いますか。(○は1つ)
- 1 施設を退所して、家族といっしょに暮らしたい
 - 2 施設を退所して、ひとり暮らしをしたい
 - 3 施設を退所して、グループホームなど仲間たちと暮らしたい
 - 4 いまの施設で、いままでと同じように生活したい
 - 5 高齢者の入所施設(特別養護老人ホームなど)に移って暮らしたい
 - 6 その他
 - 7 わからない

施設側への設問(問1)

- 地域移行についてのお考え(移行可能とお考えの場合は、望ましい移行先をお答えください)(○は1つ)
- ※ 利用者一人ひとりについて施設が回答
- 1 グループホーム
 - 2 アパート
 - 3 自宅(親・きょうだいなど)
 - 4 上記以外の移行先
 - 5 地域生活移行は現状では困難と思われる



